

発行所
津 奈 木 公 民 館
芦北郡津奈木町
電話(78)3111代
印刷所 旭 印 刷
電話(水俣)4101番
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

津 奈 木





『消防点検』
町民の身近な、
そして町民のた
めの消防団めざ
して!!

町民の命と財産を守る消防団、その頼もしい消防点検・訓練が行われました。

消防分団と役場の機動隊が一体となつて始めてその力を十分に発揮できると思います。

消防団員の方々は二十三年と長期に所属してベテランとなつて頑張っておられる。若い人も是非入団して伝統をうけついでほしいものです。女性の消防団の姿も誠に凛々しく美しく見えました。

また小学校の児童の訓練もキビキビして節度があり、一つの目標に向かう気迫が感じられ立派でした。

他の学校も団体訓練の一つの場として設置してほしいものです。

団員がもっと多くなり郷土津奈木を守る気概をもつて益々充実していくことを願っています。

一言

雨の日に「大地」を読んだ。王龍は貧しい暮らしの中でやっと貯えた銀で指輪二つと耳環を買って黄家へ行き、阿蘭という奴隷を買って帰った。王龍と阿蘭は日の出前から日没までよく働き、春うえた稲の苗は天から降りそそぐ雨によりすくすくと伸びて秋には豊かな稔りとなり、秋にまいた麦も又豊作で、小さな家はちきれそうだった。毎年子供も生まれ銀貨もふえたある年の夏に、雨が降らず飢饉となり人々は死んだ。

王龍一家は家財を銀にかえて旅費とし、南方へ移住しを食となった。折しもおこった中国革命軍の動乱と貧民の暴動の波にまき込まれ、富豪の邸で王龍と阿蘭は銀貨や宝石を手に入れて故郷へ帰り、黄家の農地を買いとり、大地主となつて暮すが、王龍は変つていった。作者パールバック女史は、文学的素養の深さと、想像力豊かな表現で、中国の風俗や動乱に翻弄される農民の姿を伝えた。読み重ねる度に、年と共に味わい深くなってくる。本は心の糧になる。(西平孝子記)



鉛筆 或る形 製作年不詳 境野一之作

耳に聞こえない音楽を鳴り響かせ網膜に写らない色彩をわきたたせ静止の中に無限の運動への予感を感じさせ、かぎりなく死に近くなった時、はじめて輝きだす生命。

乾燥した大地の中で、自然に向かっていてではなく、自分自身に向かって生きようともがく命。

目に見えぬ、普遍性を感じながら、ただ時が流れ歴史を刻む。

**平成十年度社会教育
団体役員紹介**

津奈木小学校PTA

会長	田口 伸二	書記	白坂 辰彦
副会長	松田 良浩	文化部長	福永 康夫
〃	西川 博文	広報部長	米留 礼子
〃	山口貴保子	母親部長	齊藤 園子
〃	谷村 京子	地区委員部長	柳迫 初代
〃	〃	〃	英二

赤崎小学校PTA

会長	松崎伸一郎	書記	新立 次子
副会長	藤原 千和	文化部長	林 恵子
〃	佐々木良治	母親部長	村田 靖生
〃	木野 豊次	母親部長	村田 十五郎
〃	吉野 博信	母親部長	林田 和幸
〃	上村 博信	母親部長	日野 昇
〃	伊藤 恵子	母親部長	〃
〃	福田 真由美	母親部長	〃
〃	林田 良治	母親部長	〃
〃	千々岩君子	母親部長	〃
〃	林田 恵子	母親部長	〃
〃	林田 昭二	母親部長	〃
〃	林田 龍巳	母親部長	〃

平国小学校PTA

会長	平野 新市	書記	野崎 武寿
副会長	野崎 愛子	文化部長	野崎 昭三
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助
〃	野崎 祐助	文化部長	野崎 祐助

老人クラブ連合会

会長	元村 博	副会長	津田 重輝
〃	林田 良子	〃	平野 シエ

PTA連絡協議会

会長	寺本 信介	副会長	平野 新市
〃	藤原 千和	〃	山田 豊隆
〃	小嶋 靖令	〃	松崎伸一郎
〃	小嶋 靖令	〃	田口 伸二
〃	小嶋 靖令	〃	寺本 信介
〃	小嶋 靖令	〃	福山 和枝

津奈木校区婦人会

会長	石田ミサ子	副会長	西川 京子
〃	塩山 順子	〃	塩山 順子
〃	塩山 順子	〃	塩山 順子
〃	塩山 順子	〃	塩山 順子
〃	塩山 順子	〃	塩山 順子
〃	塩山 順子	〃	塩山 順子

文化協会

会長	西川 裕	副会長	齊藤 宗三
〃	鶴野 慶昭	〃	橋口 末信
〃	齊藤 道子	〃	高見嘉司満
〃	濱田久米男	〃	演田久米男
〃	鶴野 達雄	〃	坂口フクヨ
〃	〃	〃	〃

赤崎校区婦人会

会長	篠原 尚子	副会長	佐々木セツ子
〃	岩崎 孝子	〃	上村マスコ
〃	上村マスコ	〃	上村マスコ
〃	上村マスコ	〃	上村マスコ
〃	上村マスコ	〃	上村マスコ
〃	上村マスコ	〃	上村マスコ

平国校区婦人会

会長	福山 二子	副会長	村上真由美
〃	村上真由美	〃	野崎 裕子
〃	野崎 裕子	〃	野崎 裕子
〃	野崎 裕子	〃	野崎 裕子
〃	野崎 裕子	〃	野崎 裕子
〃	野崎 裕子	〃	野崎 裕子

**西日本年令別水泳競技大会
決勝進出おめでとう**

平成十年五月二十三日に
福岡県営プールにおいて、
第三十回西日本年令別水泳
競技大会が行なわれました。

津奈木中学校一年山口智也君は、五十メートルバタフライに出場し、決勝進出六位に入賞しました。

この大会は、大変レベル

おれい

桜戸地区の窪田幸安様から図書館へたくさんのお書を寄贈頂きました。

ありがとうございます。

●薩摩街道③ 『現在の道』

古い道（おもに江戸時代の街道等）については、既に書いていたので現代の道路について少し触れてみよう。津奈木町は熊本県の南部に位置するため北の芦北町より南の水俣市に道は総て通っている。薩摩街道を筆頭に国道3号線その他の道路も皆芦北町より入ってきている。薩摩街道は江戸時代以前からあったもので、推古十五年秦河勝が「火の国狭布の山道を開く」とあり一三九〇年ものことと薩摩街道も幾年も経過し道筋も一通りでなく当町において薩摩街道として標識を建てるのは伊能忠敬時代に測量したものを経て薩摩街道としている。薩摩街道は、唯一の官道であったため明治時代旧3号線が開通するまでは重要な道であったと考えられる。自動車の発達、台数の増加等により道路の利用が本格化して道路網の整備が望まれ本町内の一般国道を筆頭に一般県道の岩城湯浦線と津奈木水俣線が主要地方道、水俣田浦線となり一般県道深川津奈木線と共に夫々に一本となった。又その他広域農道、林道も完工が待遠く、高規格道路も着工のはこびとなり昔は津奈木を通るのに数時間を必要としていたのに数十分で町外に出るようになった。一方鉄道も鹿児島本線が海岸線を通るように昭和の初め開通し、最初は石炭を焚いていたのがディーゼル車となり其後電化し、今度新幹線が登場するようになった。封建社会のときは隣国から攻めて来ぬ為、国境には橋を架ける事は禁じられ又橋をかける費用は地元で負担するため木造が多く明治になってから石造、コンクリート造になり、目的に添い、安全で、経済性もあり、環境との調和も良く総形に従い橋をかけるようになった。（石田兼義記）

津奈木町内主要交通網									
路線名	薩摩街道	旧3号線	地方主要道路	一三三線	一三三線	一三三線	一三三線	一三三線	一三三線
大岩	○	○	○	○	○	○	○	○	○
津奈木	○	○	○	○	○	○	○	○	○
千代	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福浜	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小津奈木	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計	4	4	3	4	1	2	3	3	4

街道は、唯一の官道であったため明治時代旧3号線が開通するまでは重要な道であったと考えられる。自動車の発達、台数の増加等により道路の利用が本格化して道路網の整備が望まれ本町内の一般国道を筆頭に一般県道の岩城湯浦線と津奈木水俣線が主要地方道、水俣田浦線となり一般県道深川津奈木線と共に夫々に一本となった。又その他広域農道、林道も完工が待遠く、高規格道路も着工のはこびとなり昔は津奈木を通るのに数時間を必要としていたのに数十分で町外に出るようになった。一方鉄道も鹿児島本線が海岸線を通るように昭和の初め開通し、最初は石炭を焚いていたのがディーゼル車となり其後電化し、今度新幹線が登場するようになった。封建社会のときは隣国から攻めて来ぬ為、国境には橋を架ける事は禁じられ又橋をかける費用は地元で負担するため木造が多く明治になってから石造、コンクリート造になり、目的に添い、安全で、経済性もあり、環境との調和も良く総形に従い橋をかけるようになった。（石田兼義記）

毎年七月は、社会を明るくする運動、強化月間です。社会を明るくする運動は、すべての国民が犯罪や非行のない明るい社会を皆んなで協力して築こうとする全国的運動です。本年度四十八回を数えます。地域に根ざした運動にしましょう。（主唱・法務省）



昨年度のパレード出発式

「社会を明るくする運動」を盛りあげよう!!

多目的集会所完成
「総出で賑わった落成祝」
「待望」の中尾公民館がこの程完成し、町長外多数の来賓をお迎えして盛大に落成式が挙行されました。八十世帯の中尾区民が一同に会し心を一つにして我が公民館を祝福し、沢山の餅なげをすると共に老人会を中心に、なごやかな楽しいカラオケや、皆んなで練習した踊りを披露しました。通称、中尾公民館、本名は中尾多目的集会所です。よろしくお願ひします。

自治公民館研修会
モデル公民館決定
地区の融和と団結を願ってモデル公民館活動が始まって七年目になります。本年は桜戸公民館と古中尾公民館に実施していただくことになりました。毎年皆さんの御協力により公民館長さん方は心から立派な活動が出来たと喜んでおられます。各地区公民館の活用と地区の方々の心が通じ合った、楽しい住みよい地区に盛りあげましょう。



楽しい祝餅拾い



美人の華麗な踊り

私は「砂漠の国の王女様」を読みました。砂漠の泉の水が枯れてしまい、そのことで人や動物がげんかを始めました。それを見ていた王女様が大臣に相談すると、大臣は遠く砂漠のむこうに大きな泉があると云いました。王女様はラクダとサル、ライオンとオウムを連れて砂漠のむこうにある大きな泉「オアシス」を目指して旅に出ました。ラクダに乗って旅をしている王女様たちにはいろいろなことがおこりました。でもみんな協力して解決していききました。おそろしくてこわいオオカミに出会ったときも、サルは「オオカミが来たぞ」とおしえていました。弱虫なライオンは最初はこわくて何もできなせんでしたが、王女様や他のみんなはげまされて勇気を出してオオカミと対決し、最後にはオオカミをおっぱらいしました。そしていよいよオアシスを見つけたことができ、国中の人たちののどをうるおすことができました。私はこの本を読んだ一番心に残ったところはライオンがオオカミをおっぱらったことです。勇気を出せば何でもできると言うことを知りました。みんながんばることの大切さも学びました。

読書感想文 「砂漠の国の王女様」を読んで 津奈木小3年 松田千恵美

月に五・六年の複式学級が「こんな赤崎にしたい」という内容の授業からです。六年生全員で近所をまわり、昔のものを集めたり、昔のことを聞いたりしました。保護者や地域の方々にいっぱい協力していただきました。どうぞ、赤崎地区の多くの人々の知恵・苦勞などを御覧下さい。

カメラに魅せられて

高尾 明さん(68) (上下門)
高尾さんはチッソに入社してチッソ尚和会写真同好会に入り、撮影会など何回も経験され、退職後もバードウォッチング等をされて三十年になる無類のカメラ好きな方です。バードウォッチン



グでは、皆が知っているスズメ、ハト、カラスの三種類を基準にされ、現在は川せみ、山せみを観察中とのこと。四月頃になると「プロポーズ作戦」が始ま

り、季節によって同じ鳥でも見る目が違って楽しみがあるそうです。「最近では河川工事が進み、コンクリートブロックで川せみのエサとなる小魚の数が減少して、自然を愛する者にとっては何とも言い様のない淋しい思いです。」と語られました。その思いから毎日の重盤岩登りは空缶拾いをしながら環境美化と健康管理に努められています。今後も記録を残すために、健康に注意して活躍していただきたいと思っています。（石田記）



珍らしい物が並ぶホールの一部

赤崎小メモリアルホール設置 赤崎の昔を探検!!

このホールは、赤崎の昔のようすを学習するところ。このホールは、赤崎の昔のようすを学習するところ。このホールは、赤崎の昔のようすを学習するところ。

肥後狂句
雨にうたれ風にさらされ公園の公孫樹の若葉色深み行く 野田 浦子
第六感 やつぱりビビビと来んやった
そうすか さつき言うた事と違うばいた 神無月
第六感 おるとぬしとは恋仇にや借らん 達生
第六感 危にやアムと思つたそうすか そんならよか如つてはいよ 万葉
第六感 女のこれにや寒心するそうすか ああたどこまでおとほけか 白足袋
第六感 媽の勘の恐ろしさそうすか ビビビときて嫁ぐ氣に 寅之助
〔次笠〕 振り返り あきれ果て一笠三句すつ八月十日まで つなぎ文化センターへ

今は昔か、後姿の教育

これは、今から三十二年（昭和四十一年）の四月私が新任教師として、天草の中学校に赴任したときの校長先生が話してくださったことばです。即ち、「後姿の教育」このことばは、今でも時々見たり聞いたりされること

五割を切っていました。そんな時「金たまご」と言われ持てはやされて就職していった子ども達も、今では立派なおとなとして各地で活躍されているという便りを見ると、大変頼も

も、親（おとな）は自らの体験（労働や生きざま）を、子ども達の前にさらけ出し子どもと共に汗し、喜んでいたような気がします。子ども達は、親やおとなの苦勞している後姿を見

て、自分なりに「気づき」「考え」「行動」していたような気がします。ところで、現在（今）はどうでしょう。『前からの指図』が余りにも多くはないでしょうか。『苦勞は買ってでもしろ』ということは無くなりつつあるようで、「親（おとな）が苦勞し子どもが楽する」「我が子さえよければ」と感じる場面が多く見られるような気がします。『後姿の……』このことばを実践できる姿勢と力を持ちたいものです。（津奈木小校長）

短歌
本郷武雄選
全首の知博君の声ひびく甲子園なるひき舞台に
白浜美和子
ランドセル背負いて走る初孫に吾子の幼な日重ね見ていつ
椎葉 豊子
潮引きし浅瀬において白さはおきものことしばし動かず
柳迫いづも
病み伏して食細き吾をしゃかりつつ夫はラーメン分け会いて食う
沢田しづを
鉢植えのプリムラ枯れし花がらを摘みたるあとに芽ばえて咲けり
福田八重子
中耕機の小型購入起す老のつれづれコスモス植えむ
寺本ツルヲ
亡き孫の友ら遠くをだづね来てキヤンパスの思ひ出しみじみ語る
西 滋子

肥後狂句
雨にうたれ風にさらされ公園の公孫樹の若葉色深み行く 野田 浦子
第六感 やつぱりビビビと来んやった
そうすか さつき言うた事と違うばいた 神無月
第六感 おるとぬしとは恋仇にや借らん 達生
第六感 危にやアムと思つたそうすか そんならよか如つてはいよ 万葉
第六感 女のこれにや寒心するそうすか ああたどこまでおとほけか 白足袋
第六感 媽の勘の恐ろしさそうすか ビビビときて嫁ぐ氣に 寅之助
〔次笠〕 振り返り あきれ果て一笠三句すつ八月十日まで つなぎ文化センターへ